

2023年1月9日

(一財)広島県バスケットボール協会

各カテゴリー

部長様

専門委員長様

(一財)広島県バスケットボール協会

専務理事 玉井 尚樹

(扱い 審判委員長 森原 隆)

「クリーンバスケット，クリーン・ザ・ゲーム」の実現に向けた協力について（要請）

日頃から、広島県のバスケットボール競技の普及・発展に御尽力いただきありがとうございます。

さて、皆様ご存じのとおり、JBAでは「バスケットボールで日本を元気にします」の理念のもと、「インテグリティの精神（誠実さ，真摯さ，高潔さ）」に則り，人間力・指導力・組織力を高め，バスケットボールの価値を高めるための指針決定及び啓発活動に取り組んでおり，2019年3月には「クリーンバスケット，クリーン・ザ・ゲーム」が発表されています。

これは、「バスケットボールファミリー全員の協力によりバスケットの価値を高めること」及び「試合に関わる選手，コーチ，審判全ての協力で試合の価値を高めること」を目指すもので，広島県内の各カテゴリーにおいても，「クリーンバスケット，クリーン・ザ・ゲーム」の実現に向けて取り組んでいただいているところです。

しかしながら，依然として県内大会において，チームのコーチ等が不適切な表現を用いて選手への指示を行ったり，審判の判定に対して，試合中や試合後に継続的，もしくは大きなジェスチャーなどで異論を表現したりする姿が散見されます。

こうした状況は，ルールから逸脱しているだけでなく，広島県のバスケットボールの価値を損うとともに，後進の育成にも悪影響を及ぼすことにつながるため，早急に改善が必要であると考えています。

ついては，改めて各チームの関係者に，「クリーンバスケット，クリーン・ザ・ゲーム」の趣旨及び別添「プレーコーリングガイドライン（一部抜粋）」の内容の周知徹底が図られるよう，組織的な取組を実施していただくようお願いいたします。

審判委員会といたしましても，ルールやプレーコーリングガイドラインに則り，正しく円滑にバスケットボールのゲームが進められるよう，引き続き審判員の資質向上を図り「クリーンバスケット，クリーン・ザ・ゲーム」の実現に向けて取り組んで参ります。

今後とも，広島県のバスケットボールをより一層魅力あるものとするため，関係各所が緊密に連携して取り組んでいただくよう，御協力をお願いいたします。

# JBA プレーコーリング・ガイドライン (20210901)

(一部抜粋)

## 8. テクニカルファウル (TF)

ゲームは両チームのプレーヤー、交代要員、ヘッドコーチ、ファーストアシスタントコーチ、5個のファウルを宣せられたチームメンバーやチーム関係者、審判、テーブルオフィシャルズなどすべての人たちの協力によって成立するものであることを理解することが重要である。

また、**ゲームを尊重する精神 (Respect for the game)** に則り、状況と内容を判断し、審判は注意・警告を与えることなくただちにテクニカルファウルを宣してもよい。テクニカルファウルによって与えられるフリースローは1本が狭み込みで行われ、ゲームはテクニカルファウルが宣せられた状況から再開される

### (1) ベンチおよびプレーヤーが審判、テーブルオフィシャルズ、相手チーム、自チーム、観客に対して相手を尊重しない態度で接すること (ゲームを尊重する精神 (Respect for the game) に反する振る舞い)

- ・威嚇や挑発行為 🗨️
- ・継続的、もしくは大きなジェスチャーなどでゲームに関して異論を表現すること 🗨️
- ・不適切な表現や言語 🗨️
- ・ベンチにいるメンバーがゲームの進行や運営に支障をもたらすこと
- ・マネージャー、通訳などベンチメンバーが立ち続けてヘッドコーチの役割をしたり、ゲームに関して異論を表現したりすること
- ・ゲームを安全かつスムーズに運営するために審判が出した指示に従わないこと
- ・ボールや身に着けているものなどを強く叩きつけたり、投げたりすること
- ・用具・器具を破損するおそれのある行為 (リング支柱を叩いたり、看板を強く蹴るなど)
- ・審判に対して、異論を唱えるためにボール等を投げる行為
- ・観客に対して、不作法にふるまったり、挑発するような言動をとったりすること
- ・コーチが選手 (自チーム・他チーム含む) に対して、人権・人格、身体的特徴、自尊心等を否定する暴言・暴力的行為
- ・ゲームの手続き上の規則、運営・管理に関して違反すること
- ・肘を激しく振り回すこと (ノーコンタクト)
- ・ゲーム中、携帯電話で外部と通話を行うこと (緊急の事態を除く)